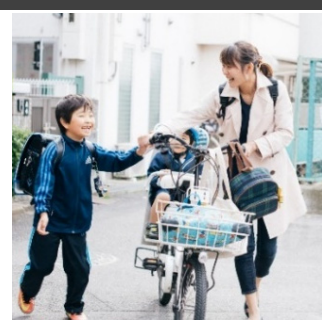




大阪医科薬科大学病院 総合診療専門研修プログラム 家庭医療専門研修プログラム 2022



WORK LIFE BALANCE
ワークライフバランスを重視しキャリア形成をサポートします



皆さん、こんにちは！総合診療科長の鈴木です。



症例をもとに若き研修医たちが病名をさぐるNHK総合テレビ「ドクターG」に出演。

また、全国の病院では、1つ1つの症例をじっくり深めていく、出張カンファレンス（症例検討会）が好評を博している。

「Dr. 鈴木 の 13カ条の原則で不明熱に絶対強くなる」（羊土社）を2015年4月に発行。



鈴木 富雄（すすき とみお）

大阪医科薬科大学 地域総合医療科学寄附講座 特任教授
大阪医科薬科大学病院 総合診療科 科長

【略歴】

名古屋大学医学部卒業。
名古屋大学医学部附属病院総合診療科を経て、
2014年9月より、大阪医科大学（現大阪医科薬科大学）地域総合医療科学寄附講座特任教授、大阪医科大学附属病院（現大阪医科薬科大学病院）総合診療科科長。

みなさんこんにちは。大阪医科薬科大学病院総合診療科科長で本プログラム責任者の鈴木富雄です。

大阪医科大学は2021年4月に大阪薬科大学と統合して大阪医科薬科大学となり、本プログラム名も「大阪医科大学附属病院総合診療専門研修プログラム」から「大阪医科薬科大学病院 総合診療専門研修プログラム」に変わりました。

当プログラムでは現在、卒後3～5年目の専攻医7名、大学院生2名が在籍し、日夜診療、教育、研究に励んでいます。家庭医として開業を考えている者、病院総合医としての研鑽を積みたい者、卒前教育や卒後教育に関心の高い者、感染症診療分野で活躍したい者、彼らが希望する将来像は実に様々ですが、皆に共通しているのは、常にどんな時でも目の前の患者に対して真摯に対応できる「あなたの専門家」でありたいという強い思いです。彼らの学びに対する意識は貪欲であり、日々の診療を通じての成長は目覚ましいものがありますが、雰囲気は極めて和やかで、和気あいあいと毎日の研修に励んでいます。

皆さんも私たちと一緒に、自分自身の未来への輝かしいキャリアと日本における総合診療の新たな歴史を創っていきませんか？よろしければまずは是非一度、気軽に見学にお越しください。

教授室でたくさんのお菓子と素敵な秘書がお待ちしております。



三澤 美和

(みさわ みわ)

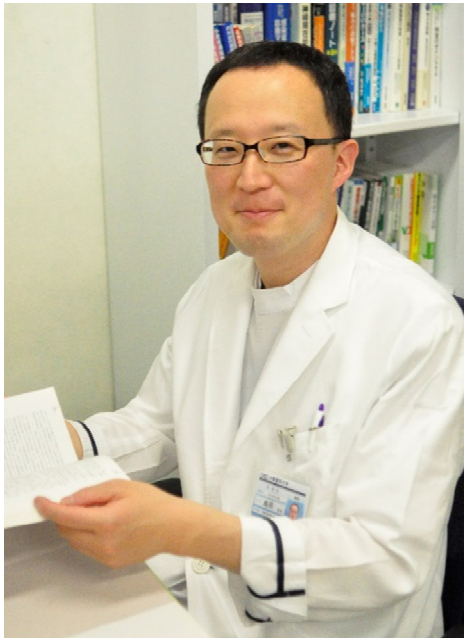
大阪医科薬科大学 地域総合医療科学寄附講座 特任助教
大阪医科薬科大学病院 総合診療科 医長

大阪医科薬科大学病院総合診療科の三澤です。私は長浜赤十字病院で11年間、糖尿病診療や救急医療に携った後、今までよりさらに全人的に、網羅的に患者様の様々な健康問題に対応できる病院総合医としての経験を積みたいと思い2016年4月に当科に赴任しました。早いものでもう7年目に突入します。当科の患者様は実に多岐に渡る訴え、病態、状況を抱えており、これまでの経験が何だったのかと思うくらいに新しいこととの出会いの連続でしたが、背景や気持ちをよく聞き、その方にとって何が問題なのかを患者さんとともに見つけていく診療は学びにあふれており、この数年で格段に自分の診療の幅が広がったことを実感しています。

本プログラムに在籍するレジデントたちは個性豊かで、お互いに助け合いながら楽しく研修を積んでいます。時に困難な症例にぶつかる時にも、ともに悩み、解決の方法を探し私も含めお互いが成長していると思います。教授・仲間との日々のカンファレンスでは様々な患者さんについて活発にディスカッションを行っております。

私自身、二人の子供を育てながら仕事を続けさせてもらっており、ママさん医師もパパさん医師も奮闘しています。それぞれの働き方を一緒に考えていける場所でありたいと思っています。プライマリ・ケアはこれからの日本の健康問題を支える大きな柱です。不安もあるかもしれませんが、臓器別ではなく患者さん全体を診たいと思う人、患者さんの家族や背景も大切にしたい診療を目指したい人、医局と一緒にわいわい勉強したい人・・・！敏腕秘書さんたちと医局の仲間が皆さんをお待ちしています。

大阪医科薬科大学病院 総合診療科



島田 史生

(しまだ ふうお)

大阪医科薬科大学 地域総合医療科学寄附講座 特任助教
大阪医科薬科大学病院 総合診療科 医長

私は大学を卒業して市中の病院で研修を行い、その後総合診療医の道を歩むべく千葉大学医学部附属病院総合診療科にて診断推論を中心に研鑽を積み、2017年4月に本学へ赴任しました。ドクターGこと鈴木教授を筆頭に、熱意溢れる指導医の方々や個性豊かな当科レジデント達、さらに卓越したサポート力を発揮する秘書さん達と、日々の診療や当科をローテートされる研修医や学生さんへの教育、研究に従事しています。大学外での活動としては昨年までの4年間、高知県本山町への短期間出向を通じて当講座の主たる任務の一つである地域医療への貢献にも携わってきました。

当科で診療する患者さん達はbio-psycho-socialの各領域で複雑な問題を抱えた方が多く、まさに総合的な視点が必要な人たちはばかりであり、そのような環境の中でレジデントの先生達と共に時に悩みや疑問にぶつかりながらも日々診療に当たっています。

私達の研修プログラムは診療所から地域の中核医療機関、更には大学病院という高次機能病院まで多様な医療現場で研修を送ることが可能であり、レジデント一人ひとりのニーズや状況にも応じて多様な研修環境・キャリアプランそして指導体制を提供しています。

また私達の診療科はwork-life balanceを大事にしており、その結果？（私も含めて）子育て中の先生もたくさん在籍して活躍しています。総合診療や家庭医療に興味のある先生方、ぜひ私達と一緒に学んで行きませんか？皆さんのお越しを心からお待ちしております！

大阪医科薬科大学病院 総合診療科



橋本 忠幸

(はしもと ただゆき)

大阪医科薬科大学 地域総合医療科学寄附講座 特任助教
大阪医科薬科大学病院 総合診療科 医員

私は橋本忠幸と申します。2021年に12年ぶりに母校の大阪医科大学に戻ってまいりました。今までは福岡の飯塚病院と和歌山の橋本市民病院で、病棟管理と医学教育を専門としてトレーニングを受け、今もその2つを中心に働いています。病院で働く総合診療医には、病棟の管理も重要なスキルとなります。大学病院ならではの診断が難しい症例の対応だけでなく、マルチモビリティ（多併存疾患）をいかに整理するか、なども日々学ぶことができます。

医学教育に関しては、主に若手指導医育成を中心に研究や育成プログラムの作成や実践などをしております。当科は若いスタッフや専攻医も多く在籍しています。新しい専攻医となる皆さんにも近い指導医となってくれたいと思います。もちろん鈴木教授をはじめとしたベテラン指導医もいます。ベテランならではの濃い指導を十分受けられます！

またアメリカの公衆衛生大学院の修士課程も卒業しているので、研究に興味がある人にもアドバイスはできると思います。医学教育研究もやっているので、医学教育を突き詰めたい方も、是非研究に興味のある方は一緒に研究もしましょう。

休日はキャンプやゴルフといった野外の趣味、そしてインドアでは動画編集なんかもやっています。そちらに興味のある方も是非一緒にやりましょう笑。

3つの特徴

病歴と身体診察を基本とし、
患者の思いに応えられる
本物の総合診療能力を獲得

院内から全国に広がる
濃密なネットワークを駆使し、
多彩なキャリアパスを支援

プロフェッショナルとしての
生涯に渡る成長と学びの方略を確立

研修プログラムについて

病歴と身体診察を基本とし、患者の思いに応えられる本物の総合診療能力を獲得

- カンファレンスやレクチャーにて臨床推論の王道を研鑽
- ジェネラリストのロールモデルの診療科長による直接指導
- ベットサイド教育を通じた的確な診察手技をマスター
- 丁寧なフィードバックにて学びを得る外来・病棟研修
- 最後の砦の大学病院総合診療科医としての粘り強い診療姿勢



院内から全国に広がる濃密なネットワークを駆使し、多彩なキャリアパスを支援



- 診療所から第一線病院までの指導体制の充実した協力施設群
- 大阪医大での専門各科の柔軟で熱意溢れる全面的サポート体制
- 小児から高齢者、救急から在宅・緩和ケアまでの幅広い研修機会
- 卒前卒後の医学教育への参加機会や留学および教員への道もあり
- ワーク ライフ バランスを第一に女性のキャリアも最大支援

プロフェッショナルとしての生涯に渡る成長と学びの方略を確立

- 定期的な振り返りにより到達地点を確認し次の目標を設定
- ストレスフルな問題に対するSEA (significant event analysis)
- ジレンマや悩みも気軽に相談できる指導医と医局の雰囲気
- 成長の証のポートフォリオ記述に関する明快で詳細な指導
- 生涯にわたり成長する省察的实践者としての個人をサポート



常に目の前の患者に真摯に対応し最善の選択ができる

あなたの専門家

になるために

研修プログラムの一例

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年目	必須内科 大阪医科薬科大学病院 ●●内科			必須内科 大阪医科薬科大学病院 ●●内科			必須内科 洛和会丸太町病院					
2年目	総合診療専門Ⅱ 大阪医科薬科大学病院 総合診療科						必須救急科 大阪医科薬科大学病院 救命救急センター			必須小児科 洛和会音羽病院		
3年目	総合診療専門Ⅰ 大阪医科薬科大学病院 総合診療科						総合診療専門Ⅰ 本山町立国保嶺北中央病院					

総合診療Ⅰ

密接に関連した診療所もしくは小病院で
Commonな症例を豊富に経験

松本ほがらかクリニック、公立神崎総合病院、
本山町立国保嶺北中央病院、川村会くぼかわ病院、
米原市地域包括医療福祉センター、大井田病院

総合診療Ⅱ

研修の中心となる大学病院総合診療科で
ジェネラリストとしての根幹を確立

大阪医科薬科大学病院総合診療科、市立奈良病院、
沖縄県立北部病院

必須内科

大学病院専門内科での充実した指導体制下で
豊富な症例を研鑽

大阪医科薬科大学病院専門内科各科、天の川病院、
洛和会丸太町病院、公立神崎総合病院、
市立ひらかた病院、高槻赤十字病院、
川村会くぼかわ病院、金井病院、大井田病院

必須救急科

一次から三次まであらゆる症例に対応できる
救急診療能力を育成

大阪医科薬科大学病院救命救急センター、
市立ひらかた病院、市立奈良病院、高槻赤十字病院

必須小児科

外来から入院症例まで多彩な症例を経験

大阪医科薬科大学病院小児科、洛和会音羽病院、
市立ひらかた病院、市立奈良病院、
公立神崎総合病院、高槻赤十字病院、高槻病院

領域別研修

レジデントの希望に応じて柔軟な選択が可能

大阪医科薬科大学病院専門各科、
しもむら内科クリニック、かとう内科並木通り診療所

研修場所に関わらず、3年間を通して定期的な振り返りセッションを継続
より良い学びの場を求めて、現在さらに研修協力施設を全国的に拡大中

Member's VOICE

大阪医科薬科大学病院 総合診療科

臨床研修専任指導医 **中垣 孝規** 出身大学/大阪医科大学

卒後10年目となりました。

現在はサブスペシャリティーの研修で大学附属病院リウマチ膠原病科で勉強させていただいています。それぞれの希望に沿った研修が可能なので、総合診療の知識をベースに興味のある領域にもかなり踏み込んだ研修ができるのが当科の魅力と思っています。

大阪医科薬科大学 総合診療医学 / 総合診療科

大学院生/臨床研修専任指導医 **住友 嗣之** 出身大学/大阪医科大学

大学院3年生として研究に取り組みながら、臨床研修専任指導医として臨床にも携わっています。研究テーマである副腎不全の診断実態の解明は、診療科を越えた先生方のご指導を賜りながら投稿を目指している状況です。

臨床に従事する時間と研究に取り組む時間が明確に分けられているため、臨床能力を落とすことなく、安心して研究にも専念できます。

個人のニーズに沿った研修、研究が実現できると思います。ぜひお気軽に遊びに来て下さい。

大阪医科薬科大学 総合診療医学

大学院生 **関根 一臣** 出身大学/大阪医科大学

上級医の指導の賜物で専攻医終了と共に専門医を、翌2020年度には認定指導医を取得できるなど、とても恵まれています。大学院では、理想的な医学教育の在り方を模索する中で、医学生と患者さんとの関わりについての研究を練っています。毎月末にあるリサーチミーティングではZoomなども利用し密を避けつつ白熱した議論を交わすことができ、他の先生の考え方や研究などとてもいい刺激になります。是非、一度遊びに来てください！

大阪医科薬科大学 地域総合医療科学寄附講座（総合診療科）

非常勤医師 **高山 真弥** 出身大学/兵庫医科大学

私は当科で後期研修を修了し、卒後9年目の現在は、市中病院で訪問診療を行いながら、非常勤医師として当科にも所属しています。

総合診療科で得た知識は幅広く、病院総合医としても家庭医としても、いろんな場面で役立っています。ライフワークバランスを保てる環境なので、働く女性にとっても仕事と子育てを両立しながら研鑽を積むことができます。面倒見の良い指導医と、熱心な専攻医に囲まれた環境で一緒に総合診療を極めましょう！

Member's VOICE

大阪医科薬科大学病院に所属

臨床研修専任指導医 **大平 貴久** 出身大学/川崎医科大学

2021年4月入局の大平貴久と申します。
大学病院ならではの診断困難症例のみならず、今年度から救急診療にも重点が置かれたことにより、比較的コモンな症例にも診療に当たることが可能です。
特に、将来どの科に進もうか迷われている方には当科をおすすめします。鈴木教授を始め、メンバー全員が歓迎、サポート致します。
一緒に診療してみませんか。

大阪医科薬科大学病院に所属

専攻医 **重留 一貴** 出身大学/大阪医科大学

医師7年目の重留です。市中病院で研修後に入局しました。5年目までは1年半大学、1年半高知で地域研修していました。去年はまた大学に帰ってきてから3か月の小児科研修に行っていました。小児科では研修医以来でときどきしながら1か月の子の点滴をとったりと普段と違いを感じていました。基本ウイルス感染が多いなと感じたり、生後1か月の発熱はリステリアをカバーしないといけなかったりで勉強になりました。個人的に精神科方面に興味があるので虐待がなぜ起こるのかや発達の問題とかも勉強できてよかったです。普段外来で見ている身体症状症とか線維筋痛症の人とかが「なぜここまで色々絡みあってしまうのだろう」と感じていましたが、本人の発達の問題や幼少期の家庭環境なども大きく関わっているだろうと気づきを与えてくれる3か月でした。4月からまた大学に帰ってきたのでまたがんばります！

京都府 金井病院にて研修中

専攻医 **川口 洋平** 出身大学/福井大学

医師6年目の川口です。
3月までは高知県で地域医療を、現在は金井病院で在宅診療専門医の資格を得るために研修中です。外来や入院とは違い、限られた資源・環境での診療に難しさを感じながらもやり甲斐を持って診療しています。ニーズに合わせた研修をさせていただきます。一度見学だけでもいらしてください。

大阪医科薬科大学病院に所属

専攻医 **磯田 翔** 出身大学/滋賀医科大学

2021年4月入局しました磯田翔です。診断力を向上させるため日々修行しています。世の中には専門科でも難しい不明〇〇(熱、腹痛、しびれ など)が溢れています。体系だった思考プロセスとそれに基づく情報収集と分析があるからこそ、そういった不明〇〇に対応できると思います。診断が中々つかず病気が進行し、患者さんも自身も苦しいこともあります。でも諦めず真摯に向き合うことで、診断がつき治療に結びつき救われる命も多くありやりがいを感じます。また、診断や治療という医学的側面だけでなく患者さんの思いなどの心理的側面、ご家族や周囲の環境といった社会的側面にも焦点を当ててカンファレンスでディスカッションするところも一つの特徴だと思います。
皆優しく懐が深く居心地が良い医局で診断学を学び、考える楽しさ・診断し治療に結びつける喜びと一緒に味わいませんか？

Member's VOICE

大阪医科薬科大学病院に所属

専攻医 **水谷 肇** 出身大学/大阪市立大学

入局3年目の水谷です！1年間の高知の研修を終えて大学病院に帰ってきました。久しぶりに「複数人の医師のチームでひとりの患者さんを診療する」環境に戻ってきましたが、やはり学びの分量が違います。毎日気付かされて学んで、相変わらず楽しく過ごしています。そして、医局に初期研修医さんや学生さんがいるのはやはり、「こじゃんとえい！」(高知弁で、とても良いという意味)ですね！できるだけたくさん学んでいただけるように工夫していきますので、よかったら一度見学にいらして下さい！

京都府 洛和会丸太町病院にて研修中

専攻医 **岩本 桃子** 出身大学/群馬大学

卒後約10年程公衆衛生の仕事(国際保健・疫学)をしていましたがブランクを経てここで臨床復帰させていただきました。最初は総診・家庭医が何かよくわかっていませんでしたが、徐々に患者さんの疾病だけを診療するのではなく、患者さんとの関係性を大切にし、その人が罹った病気とその背景にある歴史、疾病が生活や人生や生き方に及ぼす影響、家族そして地域を診る事のやりがいと喜びを感じるようになり、臨床の素晴らしさを感じながら毎日楽しく働いています。この医局は個々のニーズや状況に配慮し、無理なく安心して勤務し成長できるように調整してくれます。本当に家族のような存在です。是非いらして下さい！

高知県 町立国保嶺北中央病院にて研修中

専攻医 **鄧 艶麗** 出身大学/中国ハルビン医科大学

2020年4月に入局した鄧艶麗です。今は高知県の本山町立国保嶺北中央病院で勤務しています。高知県嶺北地域は自然が豊かな観光地で、地域の皆さんが(病院のスタッフも患者様も)優しく、暖かい方々です。患者さんの多くは超高齢者であり、超高齢者を診る経験を大事にしたいと思っています。来年は小児科にローテーションする予定です。小児から超高齢者まで幅広く診察できる総合診療医になるように頑張っています。ぜひ仲間になって、一緒にがんばりましょう！

高知県 医療法人川村会くぼかわ病院にて研修中

専攻医 **金築 佑樹** 出身大学/滋賀医科大学

2021年度に入局しました金築と申します。初期研修は京都の病院で研修を行い、後期研修より当科でお世話になっています。後期研修3年目当初は慣れないこともありましたが、周りの先生方に助けて頂きながら1年間を過ごすことができました。大学での診療は基本的にはチームで行いますので、難しいプロブレムを抱えた患者さんでも相談しながら診療をすすめることができます。病院自体も恵まれた環境にあり、通いやすい場所にありますのでぜひ気軽に見学に来て下さい。

ある専攻医の一週間

	月	火	水	木	金	土	日
8:00		医局会/抄読会					OFF
	朝カンファレンス	朝カンファレンス		朝カンファレンス	朝カンファレンス	朝カンファレンス	
9:00	病棟診療	外来診療	外部勤務	病棟診療	外部勤務	隔週 (第1.3.5週) 外来 or 病棟診療	
10:00							
11:00						レクチャー	
12:00	昼食	昼食			昼食		
13:00	病棟診療			病棟診療	病棟診療		
14:00				レクチャー			
15:00							
16:00	入院 カンファレンス	カンファレンス 科長回診		救急・外来 カンファレンス	カンファレンス 科長回診		
17:00		救急当直			ポートフォリオを 用いた振り返り		
18:00				第4木曜 漢方勉強会	第1金曜 京都GIMへ参加		
19:00							
20:00							



WORK LIFE BALANCE

ワークライフバランスを重視しキャリア形成をサポートします



カンファレンス・勉強会

Dr.鈴木の 熱血レクチャー

週1～2日

専攻医の熱いリクエストを受け、
ついに始まりました『Dr.鈴木の熱血レクチャー』
熱気に溢れた猛烈に密度の濃い1時間ですが、
他ではちょっと聞けない実践的で超役に立つ
クリニカルパールの数々が満載です。



ベットサイド ティーチング

火・金
15時半～17時

診療科長の鈴木が研修医や専攻医と共に、
入院中の患者に対して一人一人時間をかけて
回診します。ベットサイドティーチングの神髄が
ここにあります。



入院 カンファレンス

月
16時～17時

研修医や専攻医が受け持ちの入院症例を
プレゼンテーションした後、参加者全員で
ディスカッションをして議論を深めます。
診断困難例や治療方針が立ちにくい症例を
共有して方向付けをする重要なカンファレンスです。



救急・外来 カンファレンス

木
16時～17時

救急当直や外来での興味深い症例の共有や、
治療方針の決定の相談など、何でも気軽に
議論のできる場です。
たくさんのクリニカルパールが示される
大変有意義なカンファレンスです。



抄読会

火(隔週)
8時～8時半

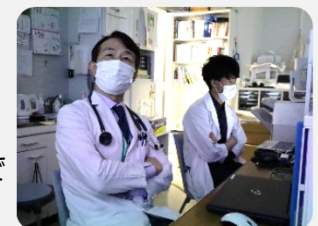
専攻医が持ち回りで、それぞれの興味に応じて、
総合診療・家庭医療に関する英文論文を読み込み、
簡単な資料を作成して皆で論文からの学びを
共有します。



ポートフォリオを 用いた振り返り

月or金
17時～18時

専攻医が持ち回りで、家庭医療専門医取得に必要な
書式でポートフォリオを作成し、指導医の下で
文献などを調べ、理論的背景を深めながら、
皆で学びの振り返りを行っています。
この時間は、キャリアを確実に積み上げていく上で
欠かすことのできない「メタ認知」を行う
絶好の機会となっています。



漢方レクチャー

木
(月に一度)

日本プライマリ・ケア学会指導医で
日本東洋医学会漢方専門医でもある漢方の達人、
下村先生による非常にわかりやすい漢方レクチャー。
証を見極め適切な手を打つ。必見の講義です。



大阪医科薬科大学病院 総合診療科



レジデント募集要項

まずはお気軽に
お問い合わせください。

応募資格	1.医師免許を有している者 2.2023年4月までに臨床研修を修了している者、または修了見込みの者 3.臨床研修修了後6年を経過していない者
研修開始日	2023年 4月 1日 但し、応募者の都合により研修開始日の変更は可能
試験日	第1回目 2022年 9月17日(土) 第2回目 2022年11月19日(土)※ 第3回目 2023年 1月21日(土)※ (※第2回・第3回は募集定員に空きがある場合のみ実施)
選考方法	面接試験
出願期間	第1回目 2022年 8月 1日(月)~2022年 9月 7日(水)必着 第2回目 2022年 9月21日(水)~2022年11月 4日(金)必着※ 第3回目 2022年12月12日(月)~2023年 1月13日(金)必着※ (※第2回・第3回は募集定員に空きがある場合のみ実施)
問い合わせ先	大阪医科薬科大学病院 総合診療科 gmd@ompu.ac.jp

※総合診療専門医研修を行うためには、上記の申込と共に日本専門医機構が定める専攻医登録システムへの登録が必要です。詳細は、日本専門医機構のホームページをご覧ください。